

宇宙産業振興小委員会の議論を受けた 当面の取り組み事項について（案）のポイント

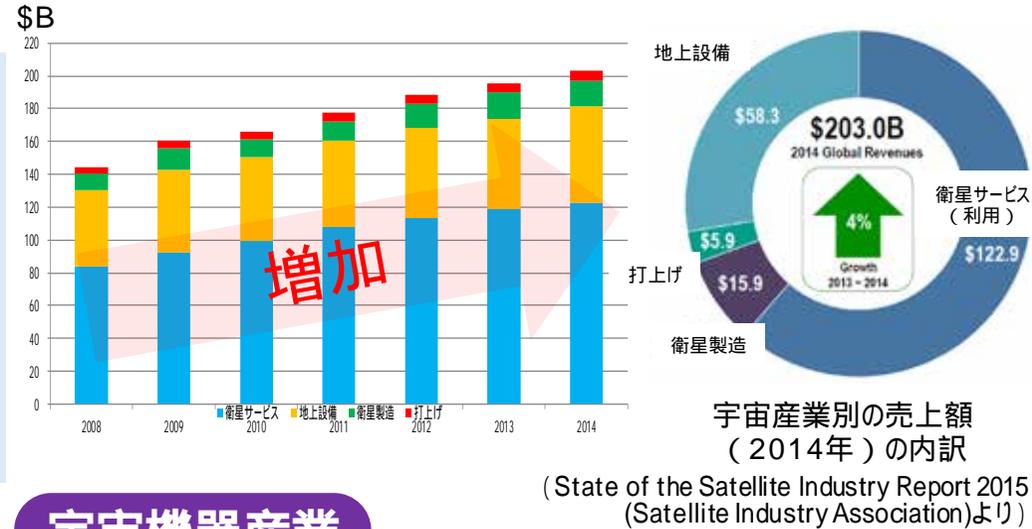
平成28年11月

宇宙政策委員会 宇宙産業振興小委員会

宇宙産業の現状・課題

宇宙産業の役割と動向

通信・放送、測位、リモートセンシング（地球観測）などを通じた衛星データは、ビッグデータの一部として様々な分野で利用が進展。宇宙利用産業及びその基盤となる宇宙機器産業の重要性は近年増大。世界の宇宙産業の規模は毎年拡大し、新規参入等の活発な動き。我が国としても、宇宙産業の競争力強化、市場の拡大、宇宙利用を通じた我が国経済への貢献を実現していくことが必要。

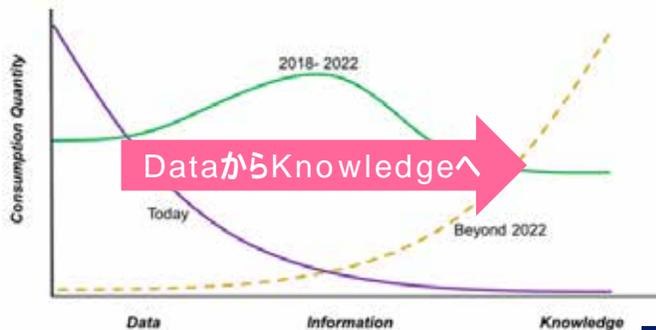


宇宙利用産業

我が国では一次データを中心としたビジネスが中心。世界的には小型衛星によるコンステレーション等により、衛星データの質・量が向上し、得られたビッグデータをAI等により解析し、付加価値を加えるビジネスへと変化。

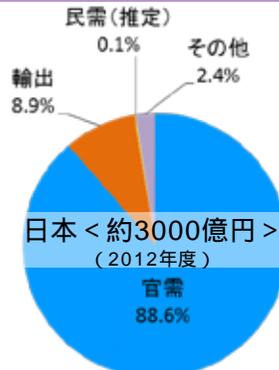
宇宙機器産業

我が国では国内政府需要が大半で、民需や海外市場の取り込みは限定的。欧米ではロケット打ち上げ事業への民間企業の参入による大幅なコスト削減や、小型・超小型衛星の製造革新が進むなど、競争力強化に向けた動きが活発化。



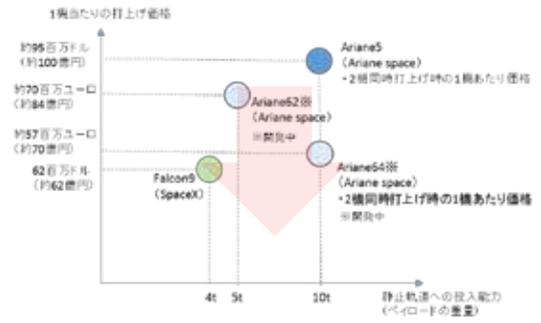
商業施設の駐車場の通行量から、顧客の嗜好・習慣を分析

(Orbital Insight HPより)



宇宙機器産業 売上構成

(平成27年度宇宙産業データブック(一般社団法人航空宇宙工業会)を基に内閣府作成)



SpaceXの参入により価格競争が激化

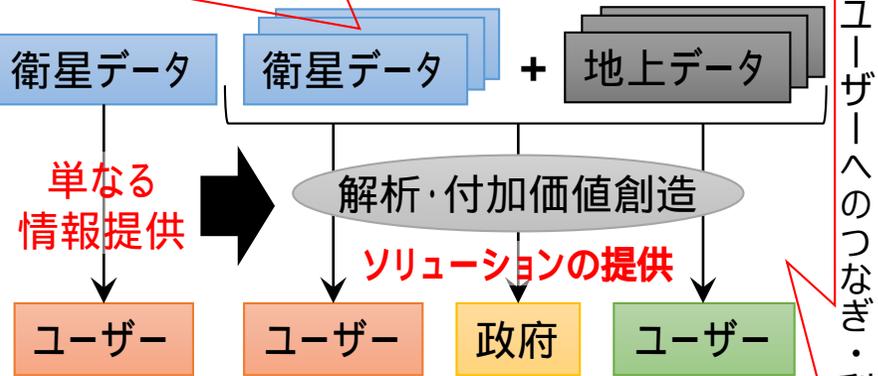
(COMMERCIAL GEOINT STRATEGY(NGA)より)
 GEOspatial INTelligence : 地理空間情報

宇宙産業の拡大に向けて

宇宙利用産業

宇宙利用ビジネスの中心が付加価値を提供するソリューションビジネスに変化する中、我が国においても必要な環境を整備し、事業創出を促進。

簡単に使え、継続性のある多様なデータ・解析環境



政府による初期需要の下支え

宇宙利用産業の変化への対応

宇宙機器産業

市場ニーズ（コスト、品質、納期等）を踏まえ競争力を強化するとともに、アジアを中心に戦略的に海外展開。需要が見込まれる小型衛星打上げ事業等も推進。

外需の獲得、民需の拡大、事業規模の拡大

コスト削減、開発投資へ

外需・民需市場へ

アジアを中心に戦略的な取組を推進

市場ニーズを踏まえた機器開発、環境整備

成長の好循環の形成

利用ビジネスと機器ビジネスの一体的な展開

ユーザーへのつなぎ・利用開拓

ベンチャー・異分野からの新規参入

新規参入の促進

ベンチャー企業や異分野からの新規参入を促すため、人材育成・流動性の確保、資金面での支援、新たなアイデアの発掘支援、成功事例の創出・拡大や社会での宇宙利用の重要性の認知度向上などが重要。